

「つなぐ」

～たじり一貫教育だより～ No.2

はじまっています 幼小接続のための取組み

「遊びを通した学びの芽生え」を育てる幼児教育と、「自覚的な学び・学習」である小学校教育には、見えない大きな段差があります。それは、互いの保育・教育を知らない・分からないことで、幼児期までに育った力が小学校で活かされなかったり、求められる力が十分に育まれなかったりなど、子どもにとってはマイナスなことです。

幼児期の教育と小学校における教育を切れ目なくつなぐことは、子どもの発達と学びの連続性を保障することでもあります。これらを円滑に接続するために、幼小接続は欠かせないものです。

田尻町でもそのための取組みとして、こども園と小学校の教職員が、それぞれの立場で感じたことや大切にしていることを話し合い、「互いのちがいを知る」ことからはじめています。今後も幼小接続のための研修や協議の場を定期的にもつ予定です。

※「幼小接続」の「幼」は幼稚園ではなく、「幼児教育」を表しています。

《IKKAN 会議》



↑今年度の会議方針を協議している様子

毎月、エンゼル、小学校、中学校の先生たちと一貫教育推進課の職員が合同で、一貫教育施設建設に向けて、子どもたちの学習環境や教育活動の在り方を議論しています。

校園長先生のリーダーシップのもと、エンゼル、小学校、中学校の全教職員で一貫教育推進のための議論を重ねています。

《一貫教育準備会》



↑一貫教育推進課職員から一貫校づくりの進捗状況の説明を聞いている様子



↑0歳から15歳までの子どもたちがともに学ぶことについて協議している様子

これからも一貫校づくりの進捗状況や園小中の「つなぐ」取組みを発信していきます。



日々の子どもの様子は
こちらからご覧ください。

園小中ホームページ➡

